

今後の議論の進め方について

先般の調査結果や調査結果を踏まえた議論の論点も参照しつつ、施設種毎（放射光施設／中性子・ミュオン源施設／レーザー施設／イオンビーム施設／その他電子線施設等）及び施設運営主体毎（国／地方自治体／国立研究開発法人／大学・大学共同利用機関法人）に、以下の観点等について、「現状をどう捉えているか」「今後どうあるべきか」「その解決策・方法論は何か」といった議論を進めてはどうか。

（観点（例））

- 産学連携を含む利用者の確保や利用者への支援
- 施設の役割分担や施設相互の連携
- 海外施設・海外研究者との連携
- オープンデータ・オープンアクセスの取組
- 人材育成

こうした議論や有識者ヒアリング等を踏まえ、

- ◆量子ビーム施設全体の今後の整備計画やこれらの施設を活用した研究全体のポートフォリオ設計の在り方
- ◆各量子ビーム施設の運営主体に応じた国の支援の在り方
- ◆各量子ビーム施設における好事例の整理や横展開の方策

等について最終的に議論をとりまとめていくこととしてはどうか。

以上

(前回議論の概要)

(論点)

- (1) 産学連携を含む利用者の確保や利用者への支援
- (2) 施設の役割分担や施設相互の連携

(主な意見)

- ☆大型施設から小型施設まで、各施設を相補的に有効活用するためには、施設全体を
通貫した「活用方針」が必要ではないか。
- ☆各施設の相補的利用の促進のためには、運営主体間でのシステムチックな連携（ユー
ザー登録・施設申請の際のフォーマットの統一、相談窓口のワンストップ化など）が必要
ではないか。
- ☆放射光施設はビームラインの本数が多すぎるので、全ての施設を一括して扱うことは難し
い。連携を図る際の施設毎のコンディションの調整が必要。（次世代放射光施設の建
設は一つの契機になるのではないか。）
- ☆プラットフォーム化を検討するにあたっては、
 - ・個々の施設の取組を妨げるべきではない。
 - ・民間企業の海外ユーザーの取り込みや産学連携による研究者の掘り起こしが必要だが、
施設の役割や規模、共通化に要するコストにも留意すべき。
- ☆施設の知見やノウハウをユーザーが知りたい深いところまでアドバイス・コーディネートしたり、
生データを基にデータ解析を行うことができる人的なプラットフォームがあるべき。
- ☆各施設の窓口になる人の流動性を高める（施設を移動する） が必要。
- ☆プラットフォームの一例として、学会の活用があるが、特に新規ユーザーの裾野拡大には
学会だけでは不十分。
- ☆施設共通の方針としては「利用の在り方に関するガイドライン」のようなものを整備し、各
施設のオリジナリティを追加して利用できる気軽な「量子ビームチャットボット」があるとよい
のではないか。

(今後議論いただきたい論点)

- (1) 海外施設・海外研究者との連携 【本日まで議論】
- (2) オープンデータ・オープンアクセスの取組 【次回以降ご議論】
- (3) 人材育成 【次回以降ご議論】
 - ・現状をどう捉えているか
 - ・今後どうあるべきか
 - ・その解決策・方法論は何か

(参考マトリクス)

施設種／ 運営主体	国	地方自治体	国立研究開 発法人	共同利用・共 同研究拠点、 大学共同利 用機関法人	大学
放射光施 設	SPring-8	・AichiSR ・SAGA-LS		・KEK PF、PF-AR ・分子研 UVSOR ・広大 HiSOR	・立命館大 SR セ ンター ・兵庫県立大 NewSUBARU
中性子・ミュ オン施設	J-PARC MLF	・青森県量子科学 センター ・いばらき iBNCT	・JAEA JRR-3 ・理研 RANS	・京大複合原子力 科学研究所	・北大 HUNS ・東北大 CYRIC ・名大 NUANS ・京大 KUANS
レーザー施 設	SACLA		QST J-KAREN	・京大化学研究所 T6-Laser ・京大 KU-FEL ・阪大レーザー科 学研究所	・理科大 EL-TUS
イオンビーム 施設		福井県 W-MAST	・JAEA 20MV タン デム加速器 ・QST TIARA ・理研 RIBF	・阪大 RCNP 加速 器施設	・東北大高速中性 子実験室 ・東北大臨界未満 実験装置室 ・筑波大附属病院 陽子線医学利用 研究センター

					<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大研究基盤総合センター応用加速器部門 ・東大重照射研究設備 HIT ・東大 MALT ・東工大ペレットロン ・神戸大加速器・粒子線実験施設
<p>その他電子線施設</p>			QST HIMAC	<ul style="list-style-type: none"> ・東北大電子光理学研究センター ・KEK 低速陽電子実験施設 ・阪大産業科学研究所附属量子ビーム科学研究施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・東大原子力専攻電子ライナック ・日大 LEBRA